

第25回 FDフォーラム（2025.12.11）

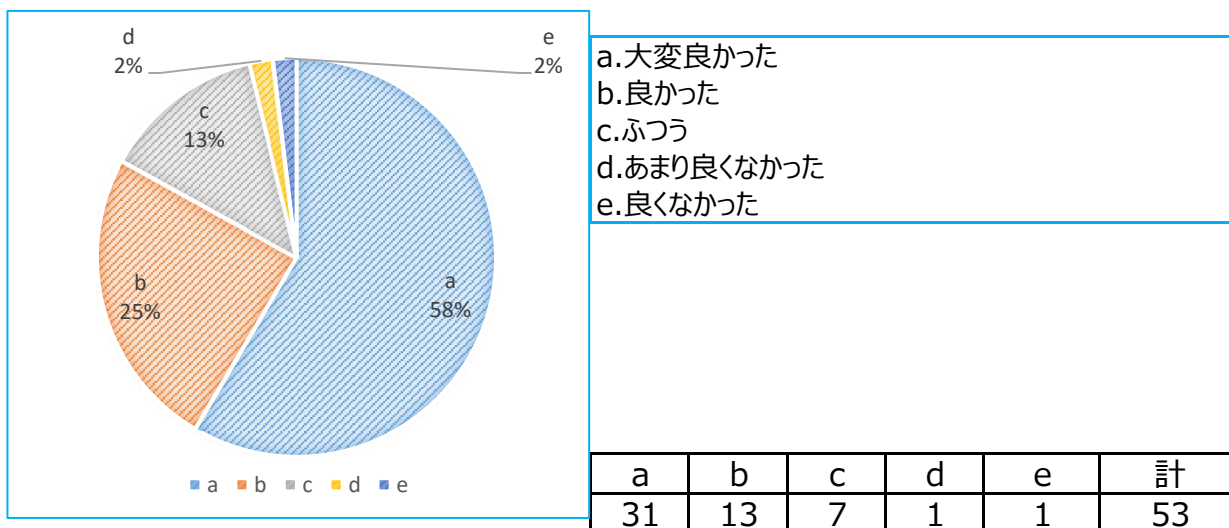
「大学教育における生成AIの活用可能性」

アンケート集計結果

参加者

154名

1. 本講演はいかがでしたか



2. よろしければ、1.の理由を教えてください。

●「a.大変良かった」と答えた人のコメント

- ◇ 参考になる内容が多かった。
- ◇ AIに向かう際の心構えのようなものが自分の中にできた。
- ◇ 生成AIをどのように授業で扱えばよいのか、どう考えるのが望ましいのかわかっていなかったのでお話をうかがいたかった。
- ◇ 近頃、学生のAI使用への対応について考えねばならないと思っていたため。
- ◇ 生成AIについての最新の動向や事例紹介が多く大変参考になった。
- ◇ 生成AIの現状に対する理解が深まった。
- ◇ 現在使っていないので、大いに参考になった。
- ◇ 重要と思いつつもなかなか使用に至らなかった生成AIについてお聞きし、使っていない自分に危機感が湧いた。時代についていくためにも、使ってみようと思えるようなご講演でした。
- ◇ タイムリー
- ◇ 知らない世界だったので大変勉強になった。
- ◇ 生成AIについての理解が深まりました。
- ◇ 最新のテーマで自分たちに関係が深いので。
- ◇ 使ってみたいと思えた。学生指導
- ◇ 法学部教授会が長引いて、最後の数分しか参加できませんでした。もし、アーカイブされるようであれば、ぜひ視聴したいと思っています。
- ◇ 生成AIの基本的な使い方からAIをめぐる最新の動向、教育現場での使い方まで、豊富な話題を提供いただき、大変勉強になるものであったため。
- ◇ 日進月歩の新しい情報を、非常に効率的に御紹介いただきました。
- ◇ 生成AIを具体的に授業や研究にどう導入すればよいのかがとてもわかりやすかったです。
- ◇ 生成AIとの付き合い方に関し示唆が多かったこと。

- ◇ 生成AIに対する正しい理解ができた。同時に誤解も解けた部分がとてもよかった。
- ◇ AIに関する最新事情を具体的に知ることができた。
- ◇ 生成AIの活用例が分かりやすかったです。
- ◇ 実際に使用しての解説があり、とても分かりやすかった。ノートブックLMは、非常に使いやすく、よく使用しています。
- ◇ 当然ですが、現時点の実情が分かった。
- ◇ 具体的で詳細な説明があり、生成AIへの理解が深まった。
- ◇ あまり良く分かっていなかったのが、参考になった。日本社会学会の社会学教育委員として、生成AIのテーマに2年間取り組む予定だが、浜松の戦争体験者の合成AIは調査倫理としてどうなのかといった観点で問う予定になっていた。だが、AIの持つ問題を理解しつつ使う道があることが分かった。むしろレクチャーを学生たちに教えていくためにも教育があることがよく分かった。卒論で言説化が難しい学生が生成AIで文章を書いてきたときにどうやってこれを教育として活かす方法があるのか、できれば聞きたかったかも。

●「b.良かった」と答えた人のコメント

- ◇ AIはすでに授業準備等で使用しており、その意義と課題について確認できた。
- ◇ AI活用の多様性と限界を明確にするべく語ったから。
- ◇ 自らの文章作成と学生への課題提示について、留意点がクリアになった。
- ◇ AIを使ってはいけないではなく、AIを使うとどういうメリット、デメリットがあるのかを実際に体験させて、教育させる工夫が重要なのかなと思ひ、発見があって良かったです。
- ◇ AIとの接し方を学ぶことができたので。
- ◇ 研究面でも活用できる点は参考になった。
- ◇ 重要だが、忙しくてこれまで避けていた分野なので、纏まった知識を得ることができて良かったです。
- ◇ 生成AIの教育現場への対応方法の例を知ることができたため。

●「c.ふつう」と答えた人のコメント

- ◇ 一般論に終始し、個別例の情報量が少なかったから。
- ◇ すでにかなり活用している立場としては活用方法については特段の驚きはなく、どちらかというと教育場面においては学生によるAIの不正利用のほうが大きな問題なのでFDフォーラムとしての満足感は大きくなかった。
- ◇ 基本的なことを理解していないので、活用についてのお話しは理解が追い付かない。
- ◇ 普段から生成AIをよく使っているので、講演の内容は知っている情報がほとんどでした。ただし、質疑応答の中で紹介されていたNotebookLMは詳しくなかったので、有益な情報を得ることができました。
- ◇ すでにAIを活用している者にとっては、基本的すぎた。できれば東大の同僚の研究者たちのNotebookLMの具体的な活用例をもっと聞きたかった。

3. 本講演を聞いて、今後の教育活動にどのように活かしていけばよろしいと思われませんか。

- ◇ 生成AIに作らせた後、中身を必ず確認することを徹底したいと思います。
- ◇ まだうまく活用できるかわからないが、学生の学習に役立つような活用方法を指導できればと思う。
- ◇ もはや学生側にはAIありき、を念頭に置かなければならないことを強く感じた。
- ◇ 最後の結論にも合ったように用途に合わせて積極的に利用させていこうと思う。
- ◇ これからの教育は本当に大変だなというのが実感です。
- ◇ 自分で考えさせる形の問いを作るために活かしたい。
- ◇ 大いに活用したいと思います。
- ◇ 授業や課題等のレベルを高めることに注力していきたいと思った。
- ◇ 授業でどのように活かしていけばいいか、今後考えます。

- ◇ 授業でうまく活用したい。
- ◇ 学生のレポート指導や教職の授業づくりに使っていきたい。
- ◇ 何を考えさせるのか、学習目標をより周到に検討しておく必要があることがよくわかりました。学生たちにとっても、学ぶべきことは何か、を考えさせる動機づけが不可欠なのでしょう。
- ◇ ぜひアーカイブを視聴したいと思います。
- ◇ 授業のみならず、研究や学内行政においても、活用していきたい。
- ◇ 授業での学生の課題について見直しが必要だと思います。また、自分自身の研究について、英語での論文作成の効率を上げるために積極的に使っていきたいと思いました。最後に、大学としても生成AI利用に関するワークショップなどが開催されるととてもありがたいと思います。
- ◇ 実際にはレポートや卒論への対応が難しい。大学あるいは学部としてのガイドラインを早急につけてほしい。ゼミではある課題に対し、生成AIの回答を議論することなどが可能だと考えている。
- ◇ 自分も授業案の一部に取り上げたい。
- ◇ 学生を指導する上でのAI対応
- ◇ まずは、自分で試してみる機会を増やしていきたいです。
- ◇ 生成AIは、ツールとして使えるようになっていくべきだと考えているので、学生には、その点を強調して伝えていきたい。
- ◇ ワorkshopへのAI参加は面白いと思った。これからの学生にとって、生成AIは装置というより友人関係にあるのではないか。
- ◇ 教材の作成、成果物のフィードバック等に使っていきたい。NotebookLMを試したい。Google Workspaceの月額使用料が研究費で支払えると良いと思う。
- ◇ AIを利用して、これまで以上の教育効果を上げていくアイデアや方法をみんなで共有していきたい。
- ◇ 語学には有効でありながら古典解釈においては限界があることを知り、今後意識的に活用し課題に取り組もうと思った。
- ◇ これまでもAIなどで回答できる課題は出していないが、むしろ活用させる課題を提示したい。
- ◇ AIを活用方法をどのように学生に伝えるべきかを検討していきたいです。
- ◇ 学生に課題を出す際に、出し方を工夫するようにしたい。
- ◇ AIを使いこなすための教育が求められるのか……。その前に自分自身がAIを深く理解しないといけない。
- ◇ まずはレジュメを見直し、また可能であれば再度動画を見て復習したい。
- ◇ より考えることを身につけさせる授業をできるようにしていきたい。
- ◇ AIのメリット、デメリットを理解したうえで取り入れていきたい。
- ◇ 目標設計と課題設定が教員能力のコアとなることを再認識した。
- ◇ 学生の不正利用については問題ではあるが、やはり活用することを学んでもらわなければならない、という点は確かなので、引き続き、使わないようにことは言わず、適切に使うよう教育していきたいと思った。
- ◇ 理解できていないので教育活動への利用までは思いつかない。
- ◇ NotebookLMを使ってみる予定です。
- ◇ すでにAIを利用した課題などを課しているが、AIに丸投げできるレポート課題や卒業論文は今後消滅するかもしれない。
- ◇ 生かし方がよくわからなくなるような講演だったと思います。

4. 今後、どのようなテーマを希望されますか

- ◇ 今回のような教育、研究、事務に生きるテーマが良いと思います。
- ◇ 時流に即したホットなテーマを期待します。
- ◇ 生成AIについて、引き続き学びたい。他の大学ではどのように生成AIと向き合い、どのように活用し、どのようなルールを作っているのかを知りたい。
- ◇ 大学院生指導
- ◇ 合理的配慮の話
- ◇ 合理的配慮、(さらに) 生成AI
- ◇ アントレ教育の導入と課題

- ◇ 今後もこれらの最新事情のフォローアップ
- ◇ まだ未消化であり、続編を望みます。
- ◇ 人口減少時代の大学経営と組織再編
- ◇ AIに関する多角的かつ多様な企画を希望する。
- ◇ 研究と教育をどうつなげるか。
- ◇ AIを活用した教育は、今後どんどん変わっていく内容なので、同じ講演がまたあるとありがたいです。
- ◇ 学生の学習意欲を向上させるためにはどうすればよいか、など。
- ◇ 高大連携について
- ◇ 大学におけるブルシットジョブの減らし方
- ◇ AIの活用事例
- ◇ 学生の学カレベルの低下への対処方法
- ◇ 基礎学力向上の指導方法
- ◇ 生成AIをよく使っている人向けのより高度な生成AIの活用法を扱ってほしいです。その際に、「少人数が受講する演習」と「大人数が受講する講義」などの授業形式を限定して、より具体的な活用法をケーススタディのような形で扱うような講演を希望します。（1回90分という時間の制約があるのであれば、扱う授業形式を1つに限定して、講演会を2回に分けて開催するなど検討していただけると幸いです。）
- ◇ AIを活用した個別最適化学習について希望する。
- ◇ 今回のテーマをもっと深彫りしたもの